

総括質問

湘南フォーラム

内堀 祐一 議員

市長に問う 「大型事業の継続」

問 ツインシティ整備推進事業、待機児童問題、人口減少問題に対し、残りの市長在任期間でどのように取り組んでいくのか。

市長 ツインシティについては、土地区画整理組合の設立認可の公告を目指し、地元や県、市が三位一体で取り組む。待機児童問題については、本年度中に20人、平成29年4月までに185人の認可保育所の定員増を予定している。来年4月に始まる「子ども・子育て新制度」によりさらなる効果を期待している。これらの施策の推進は人口減少問題への効果もある。

格差社会について 「学力の格差」

問 学力の格差が生じる要因には、家庭の収入減もあると考える。経済的に困窮する子供への援助制度について伺う。

教育長 就学困難な児童生徒の保護者には、学用品費や給食費など必要な費用の一部を援助する就学援助制度がある。本市の全児童生徒

端 文昭 議員

ツインシティ大神 土地区画整理事業

問 ツインシティについては多くの市民の声を聴くとともに、さがみロボット産業特区や相鉄いずみ野線の延伸などを視野に入れた未来志向の都市計画ができないか。

市長 市民や地権者と情報を共有し、理解していただきながら進めたい。ロボット産業の活性化と合わせて、ツインシティと渋谷を直接結ぶ鉄道の駅が本市の

問 市や準備会、地主が話し合った6月14日に、同意書を集めているコンサルは「200人」と答えている。矛盾があるのではないか。

都市整備部長 220人で、

6月定例会では、まちの整備計画、子育て支援、災害対策、市職員の法令遵守に関する条例などに対し16人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

徒数に対する就学援助認定者数の割合は平成25年度が約13%である。ここ数年は横ばいで推移している。

問 学習が遅れている児童生徒をどのように把握し、サポートしているのか。

教育長 学校ではテストだけでなく、日々の活動からも把握に努めている。学習につまずいた児童生徒には個別指導などを行っている。

問 母子世帯や生活保護受給世帯など、必要な人が確実に就学援助を受給できるチェック体制はあるのか。

教育長 就学援助制度については毎年1月ごろ、学校を通じて全児童生徒に通知を配布するほか、ホームページや広報紙でも周知し

それ以上でも以下でもない。人数と面積は決定的に重要である。コンサルは嘘を言ったのか。

都市整備部長 言い間違いはだれにでもあると思う。

問 平塚市はこれまで正しい情報を流してこなかった。例えば、昨年7月の都市計画審議会では「平成22年に全地権者約350人にヒアリングし、組合施行に約9割が賛同」と答えているが、本当だったのか。

都市整備部長 組合施行に対して9割の賛同というのは、間違いである。

問 市長が妻名義で行った

川水系では金目地区や中原、東中原地区で河床を下げる工事を実施する予定である。

問 「共助」の発想で東京都などの事例を参考に、治水対策を強化できないのか。

土木部長 個人から地域へ、そして全市へ、多くの方に浸水被害の実態を知っていただき、治水対策につなげていきたい。

問 授業に追いつけず、教師では対応しきれないような児童生徒には、地域の方が利用できるか。

社会教育部長 公民館における事例もあり、少しずつ地域の人材を活用した取り組みをしていきたい。

水害対策

問 河川の氾濫に対して、河川管理者との連携を強化し対策をとっているのか。

土木部長 管理者である国や県と連携した整備促進を図っている。今年度、金目

出村 光 議員

待機児童対策 26年度の具体策は

問 一日も早く待機児童がゼロになることを望む。市の体制を伺う。

健康・子ども部長 保育所の定員は、今年度20人、平成27年4月に105人の増加を見込んでいる。

市長 今回の補正予算に保育施設の整備費を計上した。今後も情熱をもって待

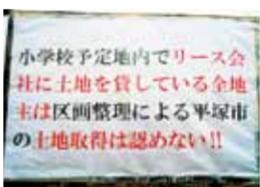
転先を区画整理予定地にしない限り、平成30年4月の開校は無理と思えるが。

市長 私の配慮の至らなから土地を持ったと思うが、法にのっとり処分(転売)した。土地所有権の移転でも利益は出していない。

問 仮に売買利益がなかったとしても、市内有権者への譲渡は利益供与の疑問もある。選管の見解を問う。

選挙管理委員会事務局長 利益供与の有無については当委員会が判断するものではなく、回答できない。

問 なぜ、相模小学校の移



相模小学校予定地に立つ地主らの看板

保留地を小学校移転用地として進める考えである。

学校教育部長 区画整理の

「市長いわくは」
「市報ひらつか」の発

機児童対策に取り組む。

保育所の耐震化

問 耐震化の現状と今後の整備の進め方を伺う。

健康・子ども部長 公立保育所10園のうち、4園で耐震補強工事が必要である。民間保育所には、補助制度を活用した早期の耐震化を促していく。

ひらつか花アグリ

問 PRの取り組みを伺う。

産業振興部長 広報紙やテレビなどで取り上げられ、来場者が増えた。今後も広報媒体の活用や関係機関との連携でPRに努める。

問 園内にミニSL、パーベキュー場、動物園などの要素を盛り込んでほしいか。

産業振興部長 ミニSLなどのことは事業者に伝えたい。パーベキューについては検討している。

問 ひらつか花アグリ周辺の責任者と費用を伺う。

企画政策部長 発行責任者は市長。年間経費は約3800万円となっている。

問 広報に毎月「市長らむ」を掲載しているが、スレマ(読者には宣伝だと気づかれないように密かに宣伝する手法)ではないか。

企画政策部長 市長が広報に顔を出すのは大切なことである。

問 それならば、市民が最も関心を持つ市長の土地売買問題についてシリーズで掲載したらどうか。

企画政策部長 土地問題は市長個人の問題である。

刃道路の整備方針を伺う。

土木部長 開園前の予測と現在の交通状況に多少の違いがある。歩行者の安全を第一に、住民や自治会の意見を聴き整備を進める。

駅周辺の駐輪対策

問 宝町駐輪場の完成により平塚駅北側の駐輪場の整備は完了したが、利用者ニーズを満たしているのか。

交通政策担当部長 11か所の駐輪場で1万台余りが収容でき、携帯電話やパソコン

小泉 春雄 議員

城島地区での子育て

問 城島の子育て世代には旧城島公民館を解体して広場として活用したいとの願いがあ。城島地区の人口動向と年齢構成を伺う。

企画政策部長 推計人口は4107人で、14歳以下の割合は同地区が12.5%、市全体では13%である。また、65歳以上の割合は同地区が30.4%、市全体では23.9%である。

問 市内の小学校区で公園、広場の数が少ないところはどこか。

企画政策部長 公園は横内地区が1か所、城島、大原が2か所である。広場は13小学校区にあり、城島にはない。

問 高齢化率の高い小学校区はどこか。

企画政策部長 土屋が32.3%、城島が30.4%、岡崎が28.5%である。

問 高齢化率を下げるため

ンから空き状況が確認できる。一方、定期利用では予約待ちの方がいることから、運営方法を検討し利便性の向上を図りたい。

問 駅南口の駐輪場の今後の整備予定を伺う。

交通政策担当部長 駅南側の放置自転車については、民間の自転車駐輪場が整備されれば解消したが、商業施設を訪れる方の駐輪場整備を進めるため、JR東日本本敷地を借用し、今年度中の完成を目指す。

にはどうしたらよいか。

企画政策部長 高齢化率を下げる特効薬はないと思う。

乳幼児の虐待と就学確認について

問 厚木市で就学前の子供の遺体が死後7年経過して発見される事件があったが、本市で乳幼児への虐待が疑われるケースはあったのか。

健康・子ども部長 平成23年度は65件、24年度は88件、25年度は64件あった。

問 所在が確認できていない子供はいるのか。

健康・子ども部長 乳幼児では4人おり、家庭訪問や調査により実態の把握に努めている。

問 今年の就学予定者で就学していない児童はいるか。

健康・子ども部長 いない。

問 所在が確認できない小中学生はいないか。

教育指導担当部長 現時点で所在確認ができない児童生徒はいない。



※端文昭議員は6月23日付で湘南フォーラムを脱会し無所属となりました。